

関係各位

拝啓

立秋の候 皆様におかれましてはますますご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。日頃は気仙沼ライフセービングクラブの活動にご理解をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび気仙沼ライフセービングクラブでは、かねてより懸案となっておりましたクラブ車両（水難救助車）の更新を本格的にすすめることになりました。当クラブでは令和元年房総半島台風災害派遣を始まりに、令和2年にはクラブ定款へ非常災害時の被災者救助事業を追加、令和3年には気仙沼市の防災対策協力団体に指定されるなど、メンバー、役員、関係機関が一体となって既存の活動概念にとらわれない新たなライフセービングクラブづくりを進めております。

今回の車両更新は「水辺の事故をゼロにする。災害に強いライフセーバーの育成」という当会の理念をより一層高めていけるプロジェクトであると確信いたしております。更新車両はこれまで以上の人員及び資機材を車載することができ、ライフセービング活動や災害時の現場においてライフセーバーが自己完結型の活動を行える装備を有しているものを予定しております。

つきましては時節柄大変に心苦しいところではありますが、関係各位から御寄付を募りたいと存じます。更新費用は総額170万円ほどと見込まれております。

一口5,000円となりますが、ご都合に応じ、何口でも結構でございます。

※会員は2口以上のご協力をよろしくお願いいたします。

当会のさらなる発展と災害に強いライフセービングクラブづくりを進める主旨をぜひともご理解いただきまして、何卒ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

敬具

令和4年8月1日

気仙沼ライフセービングクラブ

代表 小松 忠男

副代表 小山 大介

本件に関する問い合わせ先：

気仙沼ライフセービングクラブ tel.080-1675-0755

記

ご厚志は下記宛お願い申し上げます。

[気仙沼ライフセービングクラブ]

ゆうちょ銀行 818支店 普通 3067733

※恐れ入りますが振り込み手数料は御負担下さい。

継続のご支援のお願い

日本では、年間1500人以上の方が水難事故に遭っています。

要救助者の半数以上は事故が原因で生命を失っています。

「水難事故をゼロにしたい」

「水難事故に遭ってしまった人を救いたい」

「災害に強いライフセーバーを育てたい」

気仙沼ライフセービングクラブは、この想いで、この課題に全力で取り組んでいます。

当会では、水難救助活動資金の多くを会員等からの寄付等によって賄っており、助成金や補助金を利用しておりません。そのため、継続的資金のご支援を頂ける方を募集しております。

理念や当会事業にご賛同いただけただけの場合には、ぜひ下記の HP より継続的なサポーターとしてご登録、ご協力を頂けますと幸甚に存じます。

<https://readyfor.jp/projects/lifeguard>

※上記サイトは Readyfor 株式会社のシステムを利用しております。



水難事故を前にして、人は弱い。
でも、
水難事故を防ぐことはできる。

守るを託されている。
水難救助活動資金へのご協力を、よろしくお願いいたします。

**KESENUMA
LIFEGUARD**